



入学前教育 HIT Start Up Program



広島工業大学
HIT教育機構長 大谷 幸三

はじめに

本学HIT教育機構では、2019年度入学者から新たな入学前教育プログラム「HITS UP (HIT Start Up Program)」をスタートさせました。HITS UPの思想は、すべての入試区分において合格者全員が大学での学びに興味と関心をもち、自らが学びたいと思う気持ちを喚起しつつ、適切な目標を掲げながら学習できる教材と環境を提供することにあります。そのため、学習する科目、使用する教材や実施方法は入試区分に応じて設定しており、合格者が達成感を覚えながら取り組めるよう工夫しています。

ここでは、HITS UPの全体構成と各コースに設けられた教育内容を紹介しますとともに、本年度得られた成果について報告させていただきます。

HITS UPの全体構成

HITS UPは、「推薦・AO入試合格者コース」と「一般入試合格者コース」に大別されます。推薦・AO入試は10月から12月にかけて実施されるため、入学するまでに3ヶ月以上の期間があります。一般入試を目指す生徒が受験勉強をしている中、合格者にとってこの期間の過ごし方はたいへん重要となります。合格したことによる開放感と大学入学への高揚感の中、合格者の学習意欲を駆り立てる3つのコンテンツ「専門分野Letter」「習熟度別e-Learning」「大学での対面学習」を提供しています。

一方、一般入試は2月と3月に実施されるため入学までにあまり時間はありません。また、入学試験に向けた学習を継続してきた生徒であるため、高校での学習の振り返りは十分にできています。そこで、一般入試合格者コー

スでは、グローバルな視点と英語学習に着目した2つのコンテンツ「留学プログラムへの誘い」と「TOEIC模擬試験」を提供しています。

推薦・AO入試合格者コース

・専門分野Letter

各学科の教員が専門分野への動機付けに重きをおいた課題を提供します。対象者は、与えられた課題に対する調査を行い、自分なりの考えをまとめたレポートを提出します。レポートは出題した教員が添削し、対象者にフィードバックします。

・習熟度別e-Learning

習熟度に合わせた数学の学習教材をインターネットで提供します。まず、事前テストの結果に応じて対象者を3クラスにわけます。そして、クラスごとに異なるレベルで120時間分のe-Learningを課します。最後に、学習の成果を確認するため事後テストを行います。この内容は事前テストと同じです。

・大学での対面学習

8日間にわたり本学で「入学前セミナー」を実施します。対象科目は、英語、数学、物理です。本学の教員がオリジナルの教材を使って対面形式で授業を行います。初日には交流会を開催し、参加者同士の不安を解消するための場作りも行います。遠方からの参加者には宿泊費を補助していますが、やむを得ない理由で参加できない者は通信受講を選択することもできます。

一般入試合格者コース

・留学プログラムへの誘い

グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は、異文化理解や異文化コミュニケーションにおいてますます重要になっています。本学では1年次生でも気軽に参加できる海外体験研修(約10日間)から、9ヶ月にわたり専門科目を英語で学ぶ派遣留学制度まで豊富な留学プログラムを展開しています。対象者には、渡航費などの支援制度と、海外留学プログラムが詳しく紹介されているリーフレットを提供しています。

・TOEIC模擬試験

TOEICではかかる英語力は就職活動や卒業後のキャリアにおいても重要なスキルになります。今年度は「TOEIC Test プラス・マガジン」を教材として提供しました。本誌には200問からなる模擬試験が掲載されています。対象者はこの模擬試験を実施し、解答結果の写しを大学に郵送で提出します。

HITS UPの全体構成

| 10月 | 1月 | 3月 |
|-----------------|-------------------|-----------------------|
| 【推薦・AO入試合格者コース】 | | |
| 専門分野Letter | 習熟度別数学 e-Learning | 入学前セミナーでの対面授業 |
| 【一般入試合格者コース】 | | |
| | | 留学プログラムへの誘い TOEIC模擬試験 |

本年度得られた成果

HITS UPの成果について、定量的に評価できる項目をいくつか報告させていただきます。まず、推薦・AO入試合格者コースで実施した数学e-Learningについては、対象者の93.3%が最後まで学習を継続し完了しました。e-Learningを提供している企業のデータによると、達成率の全国平均は60%程度であり、本学対象者の意識の高さが突出していることがわかりました。また、事後テストの結果は事前テストより10.6%上昇しており、いずれのクラスでも学力の維持・向上という目的は達成できたものと考えます。

次に、本学で実施した入学前セミナーには、対象者全員が参加しました。今年度は初日に交流会を行ったこともあり、8日間の出席率の平均は89.1%となり、前年度と比較して4%向上しました。

一方、本年度から初めて実施した一般入試合格者コースのTOEIC模擬試験については、入学まで期間が短いながら対象者の77.7%がスコアを提出してくれました。得点率の平均は41.8%となり、今後の留学プログラムへ繋がる手ごたえを得ることができました。なお、次年度はe-Learning等への展開も視野に入れていきます。

最後に

入学前教育の本質は、合格者が専門分野へ興味や関心をもち、国際的な社会で活躍することに希望を抱き、学びたい気持ちに訴求することです。合格発表から入学するまでの貴重な時間を有意義に活用するために、大学から適切な教材を適切な方法で提供できるよう、今後も考究していきたいと思えます。



入学前セミナーの授業風景



入学前セミナーでの交流会